

安全データシート

1 製品および会社情報

製品名 日和見感染症ウイルス検出キット（製品コード：241-15200-91）に含まれる
Detection Reagent

会社名 株式会社島津製作所

住所 〒604-8511 京都府京都市中京区西ノ京桑原町1

担当部門 分析計測事業部 ライフサイエンス事業統括部 バイオ・臨床ビジネスユニット

電話番号 075(823)1351 F A X 番号 075(823)1364

緊急連絡先 バイオ・臨床ビジネスユニット 電話番号 075(823)1351

2 危険有害性の要約

分類の名称 : GHS 分類に該当しない。

3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名（又は一般名） : -

成分および含有量 : -

化学特性（化学式または構造式） : 混合物であるため指定できない。

官報公示整理番号（化審法・安衛法） : 該当しない。

C A S N o. : 混合物であるため指定できない。

4 応急措置

目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗眼した後、医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合 : 接触した部分を石鹼と多量の水で十分洗い流す。炎症を生じた場合には、速やかに医師の手当てを受ける。

吸入した場合 : 鼻をかませうがいさせた後、空気の新鮮な場所に移し安静にさせ、速やかに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませ吐かせた後、速やかに医師の手当を受ける。

5 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末、炭素ガス、耐アルコール泡、大量の水等。

消火方法 : 周辺火災の場合、容器を安全な場所に移動する。火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。移動不可能な場合は容器の周辺を水で冷却する。

消火を行う者の保護（保護具等） : 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。保護眼鏡、保護手袋、保護衣等の保護具を着用し、眼や皮膚に付着しないようにする。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 適切な保護具（「7 取扱いおよび保管上の注意」に記載のもの）を着用する。

環境に対する注意事項 : 漏出した製品が、河川などに排出され、環境に影響されないよう注意する。

除去方法 : 漏出源を遮断し漏れを止める。ウエスなどに吸収させて密閉式の空容器に出来るだけ回収した後、残りは水で洗い流す。

二次災害の防止策 : 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

7 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い : 保護眼鏡、保護手袋、保護衣等の保護具を着用し、眼や皮膚に付着しないようにする。
火災・爆発の防止 : 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
保管 : 暗所に2~8℃で保存する。

8 暴露防止および保護措置

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに手洗い、洗眼のための設備を設ける。
管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度 :
日本産業衛生学会 : 設定されていない。
ACGIH-TWA : 設定されていない。
保護具
手の保護具 : 保護手袋
目の保護具 : 保護眼鏡
皮膚および身体の保護具 : 保護衣

9 物理的および化学的性質

物理的状态

- 形状 : 固体
色 : 白色または黄色透明
臭い : なし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

- 沸点 : データなし。
融点 : データなし。
引火点 : データなし。
発火点 : データなし。
爆発特性
爆発限界 : データなし。
蒸気圧 : データなし。
蒸気密度 : データなし。
密度 : データなし。
溶解性
溶媒に対する溶解性 : データなし。
溶媒の溶解性 : データなし。

10 安定性および反応性

- 安定性 : データなし。
反応性 : データなし。
避けるべき条件 : データなし。
避けるべき材料 : データなし。
危険有害な分解生成物 : データなし。

1.1 有害性情報

| | |
|---------------|----------|
| 急性毒性 | : データなし。 |
| 局所効果 (皮膚、目など) | : データなし。 |
| 慢性毒性・長期毒性 | : データなし。 |
| がん原性 | : データなし。 |
| 変異原性 | : データなし。 |
| 催奇形性 | : データなし。 |
| 生殖毒性 | : データなし。 |
| 代謝 | : データなし。 |

1.2 環境影響情報

| | |
|---------|----------|
| 移動性 | : データなし。 |
| 残留性/分解性 | : データなし。 |
| 生体蓄積性 | : データなし。 |
| 生態毒性 | : データなし。 |

1.3 廃棄上の注意

本製品および使用後の容器は、廃棄物に関する規定に従って医療廃棄物または産業廃棄物等 区別して処理する。

1.4 輸送上の注意

| | |
|------|-------------------------------------|
| 注意事項 | : 2~8°C、直射日光を避ける。転倒、落下等による容器の破損を防ぐ。 |
| 国連分類 | : 該当しない。 |
| 国連番号 | : 該当しない。 |

1.5 適用法令

なし。

記載内容の取扱い

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、全ての資料を網羅したわけではありませぬので、取扱いには十分注意してください。